

2021 年度植栽管理実施計画について

植栽委員会 委員長 上川 巖

1. シーアイハイツ和光の植栽の現状と課題

シーアイハイツ和光も最後の第3街区が竣工してから既に37年余が経ち、団地内の樹木は見事に成長して緑豊かに、夏涼しく冬暖かい住環境を提供してくれています。しかしながら育ち過ぎた樹木が巨大化、高木化して密生することにより、次のような問題点が生じています。

- (1) 駐車場における鳥糞被害、樹液被害、落葉被害。
- (2) 住戸への日照障害、見通しや明るさ不足による防犯上の懸念。
- (3) 根上がりによる植栽柵や路面の変形、破損などによる通行上の危険。
- (4) 樹木の老朽化、病害虫、風雪などによる枝の落下や倒木の危険。
- (5) 垣根や低木の老朽化から、歯抜け裸地等景観の一部不良が見られること。
- (6) 樹木の高木化、大木化による緑のボリュームアップによる植栽管理費用の増大。

2. 2021 年度の主要業務計画

2019年から2021年の3年間の中期計画の最終年度として、本年度も引き続き美しい花と緑に囲まれた生活環境の維持と、樹木による生活環境阻害要因の排除を目指して樹木の密集化を防ぎ、持続可能な適切な樹木の育成環境を作ります。そのために、専門家の意見を踏まえて調査した結果として、現在ある790本の高木から12本を伐採する結論に至り、重要案件として3月の団地予算総会で可決されました。

- (1) 駐車場について、密集する樹木や生垣の剪定間隔を短くして、鳥糞や樹液の被害を少なくするように努めます。
- (2) 各棟周辺的美観や生活環境を維持するため、低木や生垣の実状調査を継続的に行い、適切な状態を保つための維持管理をします。

(3) 広場、通路や共同区域については、樹木の老木化などによる枯れ枝の落下防止に留意すると共に、密集化による相互干渉の防止に努めます。各棟周辺の美化については、フラワーネットの皆様の活動とその成果について大変感謝しており、今後ご協力をお願いしたいと思います。

3. 重点課題の実施と検討

- (1) 北側および西側駐車場の植栽帯のクスノキが大木化して、樹液と鳥糞被害が多発しています。これまでも数回間引きなどにより改善してきましたが、更に伐採と中低木補植などによる抜本的改善を検討・実施します。
- (2) C棟南東側駐車場の5本のケヤキが巨木化、老朽化により根上がりしており駐車場機能に著しく支障を与えております。これまでも景観上の問題から議論されてきましたが、内部が腐食して回復の見込みがなく、倒木の危険がある1本をとりあえず伐採することにしました。
- (3) 鐘の鳴る広場のクスノキ群28本のエリアは、緑の林として貴重な団地の象徴ですが本数が多いために密集度が高く、互いに成長を阻害している樹木もあり、剪定コストが毎年130万円弱程度かかってしまうので、樹木の健全な成長とコスト削減の観点からも本数をスリム化していく必要があります。今後の重要課題です。
- (4) フラワーネットの連絡会を開いて、フラワーネット活動のグループ間の連携を密にしてもらいます。
- (5) 2022年度の植栽管理計画を定めると同時に、東京ランドスケープ研究所(TLA)におおまかな長期的視点の管理計画を提出してもらい、折りにふれて検討してその方向性を定めたいと思います。